DRW. No　294-1960C　　改訂　2025/02/28

金型内圧測定器　中継ボックス　MRB-304-CV
中継ボックスの取り扱いについて

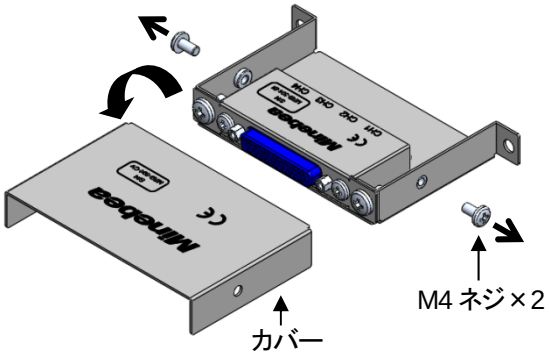
本器は金型表面に取り付けてセンサーケーブルを露出させずに使用することができる、金型内圧測定器 MPC-201B-25 用の中継ボックスです。
システム全体の取り扱い方法については、金型内圧測定器 MPC-201B-25 の取扱説明書を参照ください。
（取扱説明書、製品仕様書は弊社ホームページからダウンロードできます。
https://product.minebeamitsumi.com/product/category/mcd/index.html）

取り扱い方法

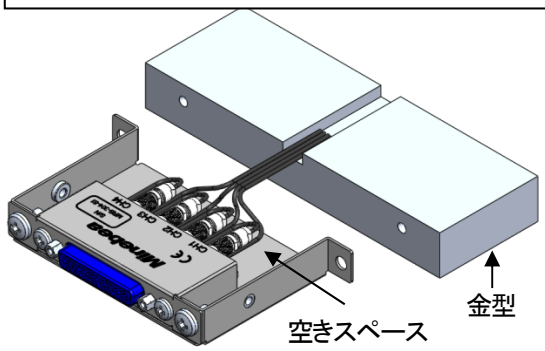
- 本器は、金型表面にボルトで取り付けて使用します。

取り付け手順

①製品本体の側面にある M4 ネジ 2 本を外し、カバーを取り外します。

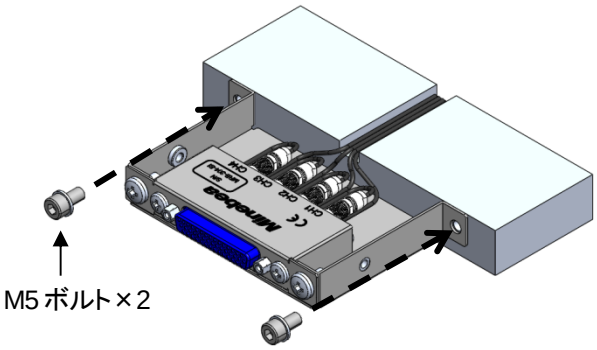


②ボックス内部にセンサーケーブルを収納しつつセンサーコネクタを接続します。



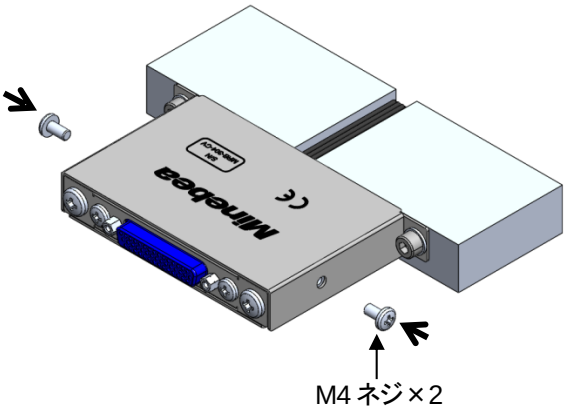
※余ったセンサーケーブルは空きスペースに束ねる等して収納してください。

③中継ボックス本体の左右にある穴を利用して、M5 ボルト 2 本にて製品本体を金型へ固定します。



※金型側の取付け面に M5 タップ加工が必要となります。
※M5 ボルトはお客様にてご用意をお願いします。

④手順①で外した M4 ねじ 2 本にてカバーを製品本体へ固定します。



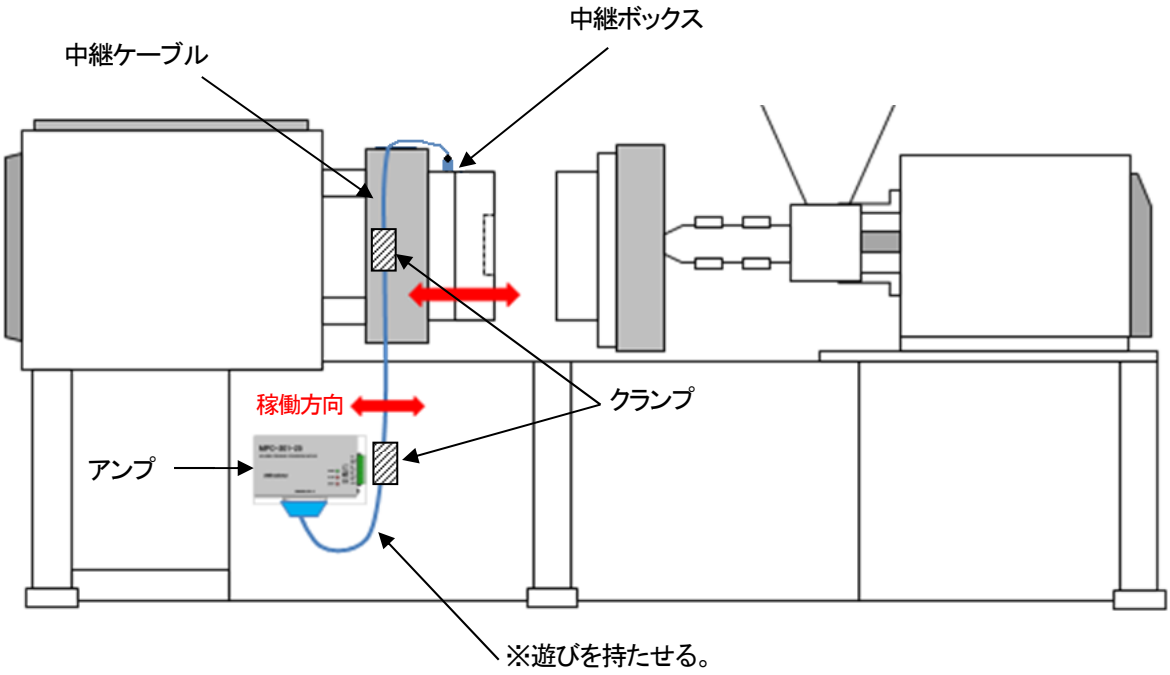
⚠ 取扱上の注意

- **本器を設置できる環境条件については、一般仕様をご参照の上、仕様の範囲内でご使用ください。**
- **センサーケーブルは、金型および中継ボックス本体との間に挟み込まないように注意してください。**
- **余ったセンサーケーブルを束ねる際はセンサーケーブルの最小曲げ R 以下にならないように注意してください。**

- **センサーケーブルの最小曲げ R は、弊社ホームページより LSMS-S06,LSMSB の製品仕様書を参照ください。**

成形機への設置（配線）

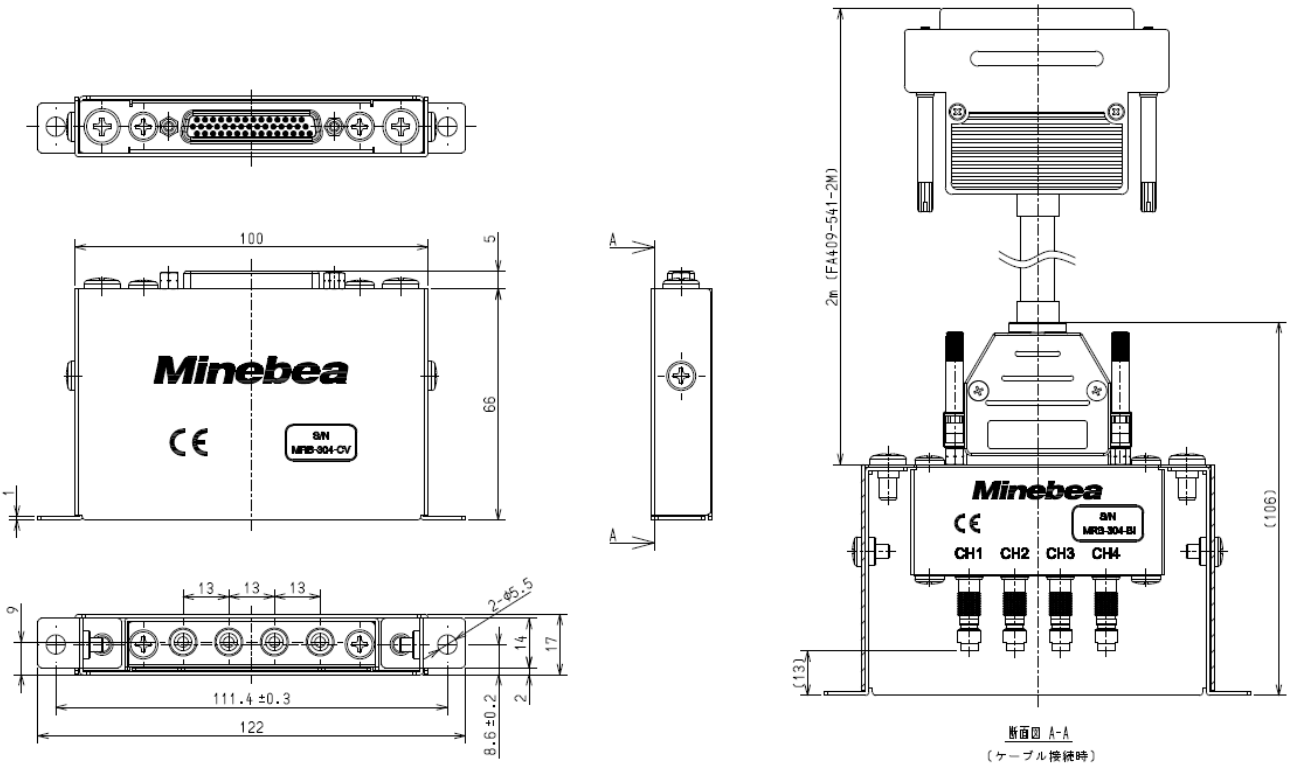
アンプと中継ボックスは、以下のレイアウトを例に、脱落や断線に注意して設置してください。アンプは作業者の手が届き、LED 表示が見える、成形機の操作側に設置してください。



⚠ 取扱上の注意

- **金型が可動しても、中継ケーブルの根元に負荷が掛からないよう、ケーブルには十分な遊びを持たせ、可動部の近くでのケーブルクランプは行わないでください。**
- **金型が可動しても、中継ケーブルに負荷が掛からないように長さに余裕をもって配置してください。**
- **中継ケーブルの最小曲げ R は 50 mm です。断線を防止するため、最小曲げ R 以上で使用してください。**
- **中継ボックスと中継ケーブルを接続するときは、D-sub コネクタの左右のスクリューネジを最後まで締めて接続してください。**
- **中継ケーブルはロボットケーブルを使用していますが、度重なる屈曲により、断線する可能性がある消耗品です。使用頻度に応じて、一定期間での交換、または予備品の保有を推奨します。**
- **中継ケーブルは中継ボックスから 2m 以内の位置でクランプしてください。ケーブルの荷重により、中継ボックスに負荷がかかり変形等を起こす可能性があります。**
- **金型可動時にセンサーケーブル、中継ケーブルが挟まれたり、引っ張られたりしないように各ケーブルを敷設してください。必要に応じ、余ったケーブルを結束するなどの処置を行ってください。**

外形図



単位:mm

一般仕様

- 使用温度湿度範囲
  - 温度　0 ℃ ～ 100 ℃
  - 湿度　85 %RH 以下(結露なきこと)
- 保存温度範囲　-10 ℃ ～ 100 ℃
- 耐振動　10 Hz ～ 55 Hz 複振幅 1.5 mm　X,Y,Z 各方向 2 時間
- 外形寸法(W×H×D)　121.6 mm×17.2 mm×70.9 mm(突起部含まず)
- 質量　約 210 g
- ケース材質　SUS304
- 適用変換器　LSMS-S06 シリーズ及び、LSMSB シリーズ
  最大 4 台まで接続可
- 適用アンプ　MPC-201-25、MPC-201B-25
- 適合規格　EN61326-1:2021
  「計測、制御及び試験所用の電気機器－EMC 要求事項」
  「工業立地での使用が意図された機器のイミュニティ試験要求事項」
  RoHS 指令対応